

施策評価調書(21年度実績)

政策体系	施策名	安心して子どもを生み育てられる保健・医療の充実	施策コード	Ⅱ-2-(2)
	政策名	子育ての喜びを実感できる社会づくりの推進	主管部局名	福祉保健部
			担当課室名	健康対策課
施策概要	母子保健体制の充実や子どもの健康づくりを推進し、子ども一人ひとりの状況に応じた支援を推進するとともに、子どもが病気の時にいつでも、どこでも相談でき、必要により受診できる小児医療体制の整備を推進する。また、安心して子育てができるよう医療費負担の軽減を図るとともに、母親の育児不安に対する支援や思春期の保健対策等を推進する。			

【評価指標】

	主な取組	指標	基準値		21年度			22年度	27年度
			年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値
①	安全で安心して出産できる体制づくりと不妊への支援	i 周産期死亡率(出生千対)	15	5.4	4.9	4.6 (速報値)	106.5%	4.8	4.6
②	小児医療体制の整備と医療費負担の軽減	ii 小児の重症患者を受け入れる二次救急医療体制が整備された保健医療圏の割合(%)	16	30.0	60.0	67.0	111.7%	60.0	60.0
		iii 乳児死亡率(出生千対)	16	2.9	2.4	2.7 (速報値)	88.9%	—	—
④	子どもの健やかな発達と育児不安を抱える親への支援	iv 育児支援に重点を置いた乳幼児健診を行う市町村の割合(%)	16	13.8	67.0	100.0	149.3%	67.0	100.0
		v 母親の育児不安解消に向けたグループミーティングの実施回数	15	94	72	53	73.6%	72	—
					平均達成率(%)		106.0%		

【業績評価】

No.	業 績 評 価		
i	達成	妊婦健康診査の公費負担回数の拡充や周産期医療体制の整備、救急搬送機関との連携などに取り組んだことにより、目標を達成した。	
ii	達成	小児救急医療体制の整備や電話相談事業の実施などにより、目標を達成した。	
iii	達成不十分	乳幼児における傷病の早期治療促進のため、乳幼児医療費の助成等を実施してきたが、乳児死亡数が対前年1人増加し、目標値を達成できなかった。傷病の度合いによっては影響もあるが、さらに早期治療等環境整備が必要である。	
iv	達成	市町村の保育士を乳幼児健診に活用するなど、保健と福祉の連携が強化されたことにより目標を達成した。	
v	著しく不十分	新型インフルエンザ発生のまん延防止策として集団的行事等を抑制したため、実施回数が目標には達しなかったが、個別訪問や電話相談を実施することにより、育児不安等を抱える保護者を支援した。	
			平均評価
			達成